

ニヨド印刷 非接触スキャナー入力印刷物検査機「コレクトアイ・シス」導入

検査品質の標準化と損紙削減目指す

スキャンスピードを評価



御庄 社長



川田 工務部長

オリジナルノート、メモ、カレンダーなどの製造を得意とするニヨド印刷(株)(本社/高知県吾川群いの町472-2、御庄康隆社長)は今年1月下旬、大ロット印刷物や高級な特殊紙の損紙削減と検査品質の標準化などを目的に、(株)ジーティービーの非接触スキャナー入力印刷物検査機「CorrectEye SIS(コレクトアイ・シス)」を導入した。客観的に品質を担保できる体制を整えるとともに、オペレーターの精神的な負担を軽減、また、インターネットにより新規受注が増える中、様々なデータにも安心して対応できるようになるなど、競争力の強化にもつながっている。

同社の設立は昭和27年。もともとは地域密着型の印刷会社として地元のスーパーや企業の折り込みチラシ、パンフレット、包装紙などを中心に取り扱っていたが、土佐和紙の町・いの町に立地するため紙関連企業とのつながりも深く、販促用ポケットティッシュが開発されて以来、それ向けの宣伝用ラベルほか、うちわやメモ、カレンダーなどの販促品も取り扱っている。

また、昨今の小ロット化に対応して、今年からは、自社サイトとは別にオーダーメイドのオリジナルノート作成に特化した専用サイト「まるまるノート」を開設した。箔押しやクロス巻き、ミシン綴じなどの様々な加工を施したオリジナルノートは、これまで印刷会社が意識していなかった顧客層からの反応があるようで、御庄社長は「ソゾタウンで服を買うような感覚で女性の個人客からの問い合わせが多く、開設2ヵ月で、すでに10件以上のお見積り依頼を頂いている。また、これによりオリジナル紙製品の製造が得意な印刷会社であることをアピールできたようで、昨今は大手が受けない小ロットのカレンダーやノート、メモの問い合わせが同業の印刷会社から入ることも増えてきている」と話す。



オリジナルノートを作る「まるまるノート」

大ロット印刷物や高級特殊紙の損紙削減を目的に検査機導入を検討

同社ではこれまで、RIP内の検査システムは導入したことはあったものの、印刷物の検査システムを導入した経験はなかったという。そんな同社が検査機導入を検討した最大の理由は、高級特殊紙の損紙削減によるコスト削減である。これについて川田雅樹工務部長は、「当社では高価な特殊紙を使用することも多く、刷り直しとなればあっという間に数十万円が飛んでしまうことになる」と説明する。このため、同社では刷り始めの1枚目から検査できるシステムを検討。コレクトアイ・シスは非接触のWET対応のため、印刷後すぐにチェックすることができ、さらにスキャン時間は菊全サイズで約13秒、スキャン開始から終了まで約45秒で完了するため、検査工程が増えても全体的なメリットを考えると十分すぎるほどペイできると判断しての導入となったようだ。



「当社は不特定多数のクライアントから様々な印刷物を受注しているため、紙や内容によって検査基準も変わる場合がある。このため、インライン検査ではなく最終的にオペレーターの手で確認できるコレクトアイ・シスが当社に最も適していた。またスキャンしてから画像ができるまでのスピードは1分ほどであると聞いていたが、実際はそれよりも短く、感動するほどのスピードであった。検査の工程が増えたとしても、オペレーターの作業負荷軽減を考えると、その導入効果は絶大だと期待している」(御庄社長)

「エラーや間違いがあるのかないのか分からない版キズやブラ凹みを人が目で探して見ていくのは時間もかかるし、大変な作業である。その点、コレクトアイ・シスを使用すれば、マーキングされた箇所を確認するだけで良いため、その労力は比べものにならない」(川田工務部長)

精神的負担軽減、様々なデータに安心して対応

また、同社が検査機の導入を検討したもう1つの目的は、検査品質の標準化を図ることであった。人の目による検査では、ベテランと若手オペレーターの検査品質にどうしてもバラツキが出てしまうが、これを標準化することで客観的に品質を担保できる体制を整えることにより、印刷会社としての競争力を高めていく考えだ。

「これまではオペレーターの日だけに頼って検査を行っていたが、人の目ではとくに繁忙期などは集中力にも限界がある。また、『まるまるノート』など新しい事業も始まり、新しいクライアントとの付き合いも増えていく中、中にはどうやって作成したのか分からないようなデータもある。モニター上では見えているが、本当に出力できるのか不安になるようなデータもあるが、そのようなデータであっても、コレクトアイ・シスを使えば、クライアント支給の出力見本さえあれば、照合して簡単に検査することができる」(川田工務部長)

さらに、「これは副産物としての使い方であるが、コレクトアイ・シスは最大600dpiの解像度があるため、大判の製版スキャナーとしても十分に使用できる。つい最近も、廃業した印刷会社のクライアントから『データもフィルムもなく実物の包装紙しかないが、何とかして欲しい』との要望があり、コレクトアイ・シスでスキャンしてデータ化して印刷させていただいた」と川田工務部長。導入からわずか1ヵ月であるが、同社では様々な効果の可能性を見出している。



今年1月末に導入した「CorrectEye SIS」

アナログとデジタルの良さを融合させ、クライアントからより安心される印刷会社に

同社ではこれまで、決まった顧客とのやり取りだけで、新規顧客の集客には注力していなかったが、インターネットにより昨今では日本全国から、とくに印刷関連企業からの受注が入ってくるが増えているという。

御庄社長は、「今後、同業の印刷会社からさらに多くの仕事を受けていこうとした場合、プロの印刷会社を納得させるシステムが必要になる。工場見学なども必要になってくるかも知れない。その時の対外的なアピールとしてもコレクトアイ・シスは有力なツールとなってははずである。当社は印刷業界では当たり前となっているプロセスを省略せずに愚直にやっている。刷りの品質にも厳しく、アナログの印刷会社の良いところを持っている会社であると自負している。そんな当社に今回、新しくデジタルの検査システムが加わった。これによりクライアントから『ニヨド印刷に任せれば安心で間違いはない』と評価される会社を目指したい」と抱負を話す。

新事業をスタートさせ、さらなる躍進を図る同社の今後に注目したい。

非接触スキャナー入力印刷物検査機

🔍 Hallmarker シリーズ



コレクトアイシス
CorrectEye SIS

コレクトアイから非接触スキャナータイプが登場!

刷出し検査

抜取り検査

刷了後検査

印刷の刷り出し検査を **簡単** **高速** **高精度** にサポート

一台で複数印刷機の印刷物とRIP後データの比較が可能です。

検査解像度は300dpiと600dpiから選択でき、ニーズに合わせて入力精度の変更が可能。
入力サイズは約四六全版(1091mm x 788mm)。TIFF、PDFファイルにも対応。

Wet 対応

スキャン時間は

菊全サイズで **約13秒!**

スキャン開始から検査終了まで

約45秒!

※300dpi CMYKデータとスキャン画像の比較

●さらに「品質管理サーバーオプション」で各部署をまたぎ
社内全体で情報を一元管理

フロアをまたぎ、異なる複数の印刷機、印刷物、検査の詳細な内容、不良、担当者などのあらゆる情報を、社内のどこからでも「共有」「一元管理」検査だけではない、社内全体をまとめる品質管理システムの構築により、製品品質の向上を後押しします。



【神戸本社】
650-0002
兵庫県神戸市中央区北野町3-5-3
TEL 078(265)5385 FAX 078(265)5389

【東京支社】
101-0032
東京都千代田区岩本町2-8-15 井桁ビル7F
TEL 03(6876)8768

【ショールーム・ラボ】
651-0094
兵庫県神戸市中央区琴ノ緒町5-7-17 小橋ビル2F
TEL 078(265)5388 FAX 078(584)0966